

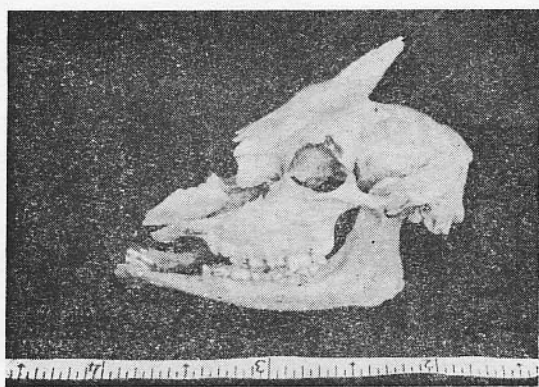
る4 kmを流れる地下の大河川を形成しているのではないだろうか。このことはマイコミ平から福来口に至る4 kmの沢に流水が地表に現われていないことでも推察される。

洞内生物と化石調査

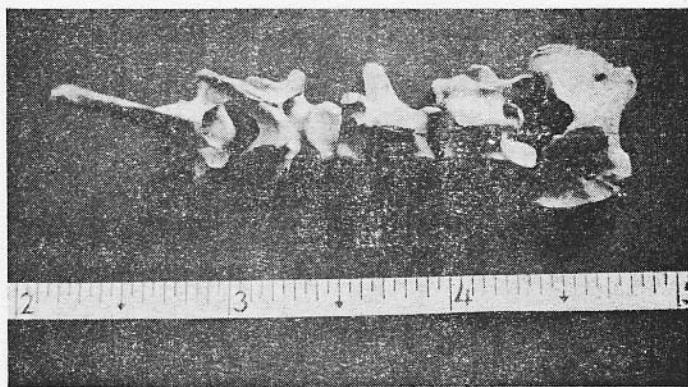
森 下 豊

地上から65 m降りた第Ⅰホールには、山と積み重なった落葉と枯枝、そして腐敗木のジュートンがある。このホールには、人間が1人やっと通れるくらいの道を残して雪溪が横たわっている。気温 2°C ではあるが、一応洞内生物の食物となりそうな落葉や枯枝がある。だからひょっとすると、こんな寒い中にも生物が生存しているかもしれない、もし見付かるとこれは日本の調査活動において貴重な資料になるに違いないと、内心うきうきしながら、この落葉の山を少しづつ掘っては、何かいないかと注意深く見たが、何も虫は出て来なかった。これは常に、解けた雪溪の水に濡れているためか、地上で雨が降ると、このホールに直接雨水が流れ込み、虫が棲息できないのか、それとも冬になると、大雪が降るために、洞内が 0°C 以下になる事も、ありかねないところから、虫が棲息しないのだろうと自分自身を慰めながら、掘り返した所を埋めた。その時、ふと高山に残っている雪溪の中に、虫がいると聞いたのを思い出し、この雪溪の中にも、もしかしたらいるのではないかと思って、掘ってみたが、やはりいなかった。その他、このホールの土の部分、昨年、水島さんと、丁寧に探したが、何も見あたらなかったのも、今年はいえ調べてなかった。もうこのホールには何もいないものと断念して、第Ⅱホールへ向かった。その途中チムニーの部分で、プールの中を見てみたが、あまりにも水が美しすぎて、水虫類は、何もないような気がしたので、プランクトンネットは、使わなかった。第Ⅱホール全体は、常に水で洗われているので、石ころの表面が、ツル、ツル、していていかにも、生物が棲息していないような状態なので、水温と気温計を計っただけに終わった。両方とも 2.5°C である。

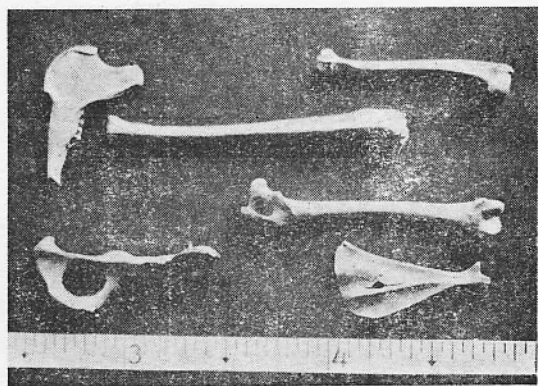
しかし、光苔が、このホールの1部の壁に群生していて、その上に水滴が付き、ライトを当てると、水滴が青色くエメラルド色に、キラキラと輝き、美しいものである。それから70 mの滝を下り、第Ⅲホールへ降り立った。こんもりと丘になった砂地の部分は、昨年良く調べたが、ムササビの骨だけが見つかっただけである。今年は別に調べようと、思っていなかったが、佐保野氏がその前日にカモシカの足の骨を見つけて来られたので、もう一度あたりを捜してみたが、何もみつからなかった。このことは、黒姫山のふもとに以前カモシカが棲息していたことを物語って



億七千万年のトールネイ期～二畳期にかけてであるのだから、この洞窟の形成期を何千万年前としてもその間に、何かの影響で、生物は洞中に育たなかったものだろうか。今後、この洞窟を調



査するとすれば、生物調査を徹底的に行なえば、これらの疑問点が、全部とはいかなくとも、ある程度は解明されると思う。それにはより一層の勉強と頑強な体力が必要である。たまたま洞内にいる生物は、ゴミ虫（目があり、真洞窟性のものより少し体が肥えている）と流水中に住むトビケラだけであった。この両方とも地上から落ちて来たものだと思う。また気温 5°C の第Ⅳホールでは、ケカビが腐敗木や地面を這うようにして生じていた。これは^{カビ}が流木について流されて来たか、^{カビ}が水に流されて、流木のある所で育ったのだろう。



いる。水温 3°C の水に浸りながら、プランクトンネットをかけたにもかかわらず、昨年と同様、水虫の類も、プランクトンの類もいなかった。先に述べたように、こんな現象が見られるのは、雪解け水も、雨水も、常にこの洞窟に流れ込んでいるため、水虫が水と共に流れているのだろうか、それにしても、この地の石灰岩形成期は、二

億七千万年のトールネイ期～二畳期にかけてであるのだから、この洞窟の形成期を何千万年前としてもその間に、何かの影響で、生物は洞中に育たなかったものだろうか。今後、この洞窟を調査するとすれば、生物調査を徹底的に行なえば、これらの疑問点が、全部とはいかなくとも、ある程度は解明されると思う。それにはより一層の勉強と頑強な体力が必要である。たまたま洞内にいる生物は、ゴミ虫（目があり、真洞窟性のものより少し体が肥え

でも、一般にカビの生育に適した環境条件は、温度が $15^{\circ}\text{C} \sim 20^{\circ}\text{C}$ であり、湿度のなるべく高い所である。しかし、北極圏や南極でこれらの類が育つことを考えれば、 5°C の所で育つても不思議なことはないと思う。我々が調査した範囲では、真洞窟性生物も、生物学的に貴重な虫類も見られなかった。